

Canon MJ 通信

～第56期中間報告書～

2023年1月1日 ▶ 2023年6月30日

利益ある成長を次のステージへ 成長投資の実行と 人材の高度化を加速します

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

代表取締役社長 足立 正親

株主の皆さまには、日頃より温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当中間期における当社グループの業績は、個人消費の持ち直しや企業の積極的なIT投資が継続する中で、引き続きITソリューション事業が好調に推移するとともに、キヤノン製品の供給が回復した結果、売上高は前年同期比129億円増収の3,028億円となりました。営業利益については、今後の成長に向けたIT投資等の販管費の増加等により、前年同期比7億円減益の271億円となりました。

上期までの実績を踏まえ、当年度の中間配当金は1株あたり50円(前中間期比10円増額)とし、年間配当金予定を1株あたり100円(前期比10円増額)とさせていただきます。今後の配当金額につきましては、引き続き長期・安定的な増額を目指してまいります。

足元の経営環境は、企業のIT投資拡大の動きを背景に、ITサービス業界全般に好調な状況が続いています。また、当社は当中間期に、株式分割後の過去最高の株価を更新するなど、皆さまからの期待の高まりを認識しております。国内の物価上昇等の国内景気を下押しするリスクは想定しつつも、皆さまからのご期待により一層お応えすべく、積極的な投資の実行と人材の高度化を加速させ、利益ある成長を次のステージへ進めてまいります。

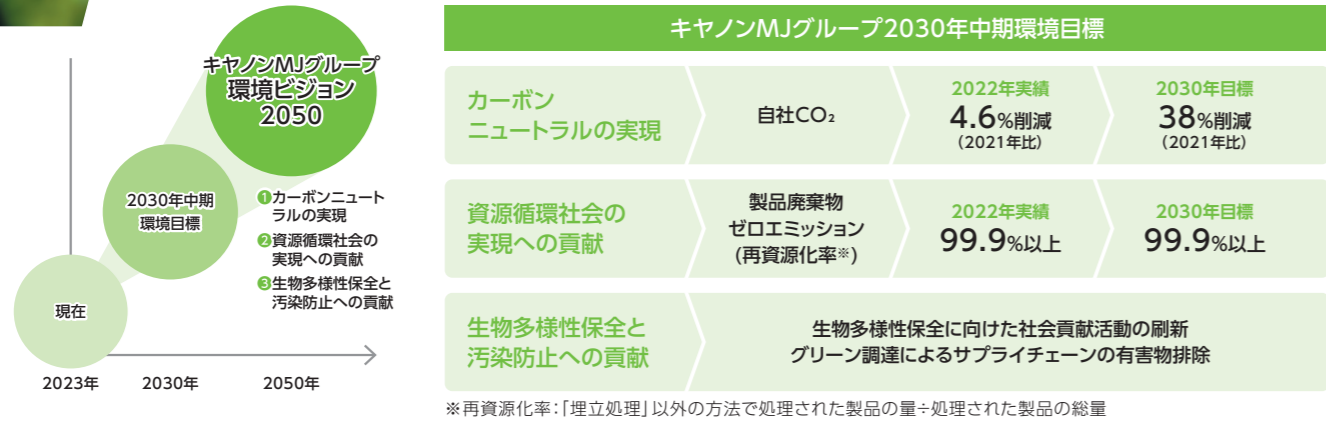
当社グループは企業理念「共生」を企業活動の根幹に据え、お客さまとともに発展し、サステナブルな社会の実現に貢献する企業グループを目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、一層のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

全てのステークホルダーとともに持続可能な社会の発展を追求し、サステナビリティ経営の取り組みを加速しています。

Environment 地球環境との調和

キャノンMJグループは、地球環境と調和する持続可能な社会の実現に貢献するために「キャノンMJグループ環境ビジョン2050」、またその中間目標である「キャノンMJグループ2030年中期環境目標」を掲げて活動をしています。

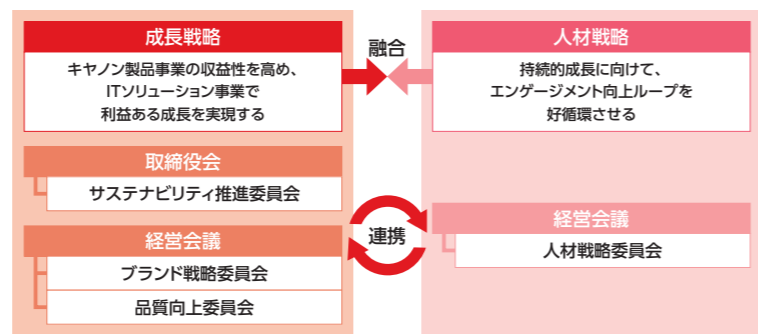


Social 人材戦略(人的資本)

キャノンMJグループにとって人材は価値創造の原動力であり、最大の資本と考えています。当社グループは「進取の気性」を発揮し、新たな価値創造で選ばれ続けるプロフェッショナルな人材を育てています。

2022-2025中期経営計画基本方針に「人的資本の価値最大化」を加え、人材戦略を経営戦略の一つとして明確に打ち出し、実行推進の加速に経営トップがコミットメントしています。

「個人」の自律的成長や専門性の向上が、「組織」を活性化させ、お客さまの満足を生み出し、それが社員の働きがい・成長意欲の向上につながることを目指しています。この一連の好循環(エンゲージメント向上ループ)をまわすことで、人的資本の価値最大化に取り組んでいます。



Governance ガバナンス

社外取締役である大澤取締役、長谷部取締役、河本取締役の3名に「この1年の進化と今後の課題について」、「キャノンとの関係性、親子上場の妥当性」などキャノンMJグループの更なる成長戦略の加速に向けた課題などについて語っていただきました。



当社では、2011年の執行役員制度導入以降、2018年に指名・報酬委員会を設置し、2022年には社外取締役を3名に増員するなど、コーポレート・ガバナンスの充実に向けた取り組みを進めてまいりました。このたび、取締役会の構成を検討し、サービス品質向上と多様性確保の観点から本年3月29日開催の定時株主総会において会社経営、サービス業、さらにはダイバーシティの視点からも豊富な経験と卓越した見識を持つ河本宏子氏を新たに社外取締役として選任しました。



これらの記事の詳細は、「統合報告書2022」に掲載しております。ぜひご覧ください。

Environment

西東京データセンター2号棟が2020年に同認定を取得した1号棟とともに東京都環境局より「優良特定地球温暖化対策事業所」に認定されました。地球温暖化対策に特に優れた事業所としてサステナブルな社会の実現に貢献しています。



当社グループのフオリサイトテクノロジーズ(株)は、データセンターの使用電力を100%再生可能エネルギーに変更しました。2050年までに温室効果ガスゼロを目指す国のカーボンニュートラル宣言を先行する取り組みで、沖縄県内の建屋型データセンターでは初となります。

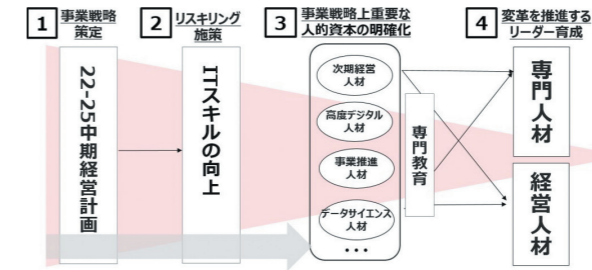


2022年4月より本社、自社ビルを含む5拠点において、使用電力の実質再生可能エネルギー100%を実現しました。これにより2022年4~12月の期間のCO₂排出量約3,800t*が実質ゼロとなりました。
*Scope2(他社から供給された電力の使用に伴う間接排出)が対象。



Social

当社グループは、社会やお客さまの抱えるさまざまな課題を解決する存在として提供価値を高めるために、人材の高度化、特にデジタル人材育成に注力しています。これまでにITリテラシー向上研修、ITパスポート資格取得促進、データリテラシー講座の実施など基礎力向上を図ってきました。また、デジタル人材育成の一環としてグループ約1万4,000人を対象に「DX検定」および「DXビジネス検定」の受検を実施しました。今後も人的資本の価値最大化に向け、人材育成や社員のエンゲージメント向上に注力し、社会とお客さまの課題を解決する存在として成長し続けます。



東京都立産業技術高等専門学校との産学連携協定を締結し、サイバーセキュリティ人材育成の取り組みを開始しました。当社グループがこれまで事業で培ってきた高い技術と知見をもとにした支援を行うことで、社会で活躍できる実践的な力を持った人材の育成と輩出に貢献します。



PickUP

「DigitalWork Accelerator」シリーズの新サービスとして、経理業務のDXを加速する「請求書受取サービス」の提供を開始しました。本サービスは、郵送やメールで受け取っていた請求書をオンラインで受け取ることで、インボイス制度と電子帳簿保存法に準拠し、請求書受け取り業務の効率化に加え、BPOでの支援サービスも含め経理業務のDXをまるごと加速します。今後、業務プロセスに応じた業務別サービスや金融・流通・製造などの業種別ソリューションとの連携を強化し、業務プロセス変革の支援と新たな価値を創出するプラットフォームとしてサービスを継続的に拡充していきます。

スマホライクな縦型デザインのVlogカメラ「PowerShot V10」を発売しました。コンパクトボディに、高画質・高音質を実現する1.0型CMOSセンサーや、大口径マイクを搭載し、スマホと連携することで、多様な撮影シーンに対応するVlogカメラです。近年、スマホやSNSなどの普及により、映像からあらゆる情報に触れるライフスタイルが定着し、映像を活用したコミュニケーションがより一層活発になっています。「PowerShot V10」により、簡単操作で高画質・高音質な映像表現と自由な撮影スタイルを提案し、高まる動画撮影のニーズに応えます。



トピックスの詳細はこちらをご覧ください。



Financial Highlights 業績ハイライト

各セグメントの売上高、営業利益をそれぞれ合計した数字は、「その他」の金額が含まれないため、円グラフ中央の売上高、営業利益と異なります。また、円グラフの構成比率は売上高構成比率を示しており、各セグメント別売上高の単純合計額をもとに算出しています。
※「その他」は、シェアードサービス事業ならびにセグメント間取引消去で構成されています。

(表示単位未満四捨五入)



プロフェッショナル

売上高 …… **220億円** | 前年同期比 **8.1%**

営業利益 …… **29億円** | 前年同期比 **29.9%**

プロダクションプリンティング、産業機器、ヘルスケアといった、各専門領域のお客さまを対象とした製品やソリューションを提供しています。

コンシューマ



売上高 …… **641億円** | 前年同期比 **2.2%**

営業利益 …… **62億円** | 前年同期比 **6.6%**

キヤノンの祖業であるカメラをはじめとするイメージング製品群・インクジェットプリンター等のキヤノン製品とキヤノンブランド以外のコンシューマユース向けプロダクトを、量販店やオンラインショップ等を通じて個人のお客さまに販売しています。



エリア

売上高 …… **1,186億円** | 前年同期比 **5.2%**

営業利益 …… **93億円** | 前年同期比 **8.5%**

ビジネスパートナー、システムパートナーによる間接販売、キヤノンシステムアンドサポート(株)による直接販売からなる多様なチャネルを最大限に活かし、日本全国の中小企業のお客さま向けに、キヤノン製品やITソリューションを提供しています。

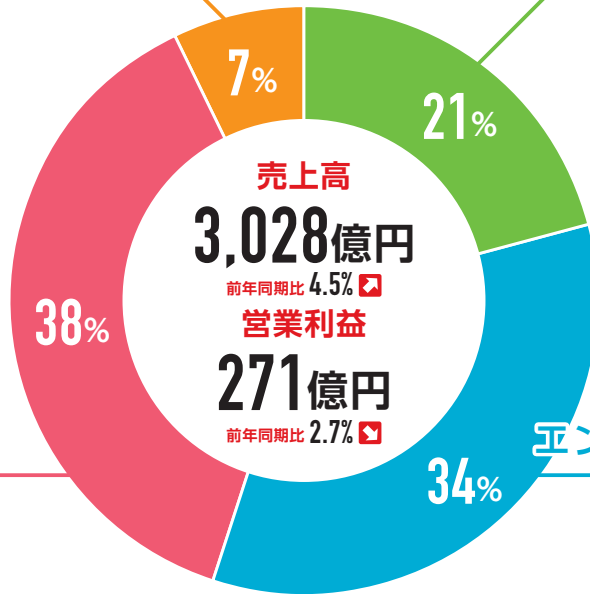
エンタープライズ



売上高 …… **1,075億円** | 前年同期比 **6.9%**

営業利益 …… **99億円** | 前年同期比 **3.9%**

大手企業、準大手・中堅企業のお客さま向けに、業種・業態ごとに異なる経営課題を解決するためのキヤノン製品やITソリューションを提供しています。



その他*

売上高 …… **95億円**

営業利益 …… **11億円**

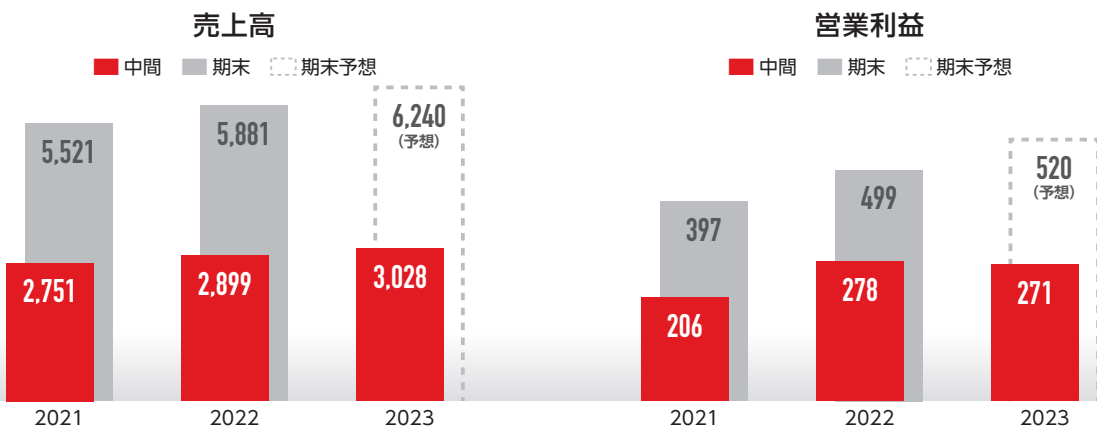


当中間期における業績の詳細をご覧ください。



売上高・営業利益推移

(単位:億円、単位未満四捨五入)



IRメールマガジンのご案内

IR情報をはじめ各種IRイベントや無料セミナー等のさまざまな情報をお送りしています。
「投資家向け情報」のトップページよりご登録ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

本社:〒108-8011 東京都港区港南二丁目16番6号

証券コード:8060



ユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。